

季節の手帳

ことしの立秋は8月8日、日暮れが少しはやまり、涼風も立ち、初秋のけいはも少しづつ見えはじめるが、日中の暑さはまだまだ続き、夏の疲れが感じられるのがこの立秋前後。このあたりで気分一新、よりよい消夏の術を工夫したい。



●ことしの「日光夏季自然まつり」は、天候に恵まれ、関係者の協力で盛大に行なわれた。22日のキャンプまつり参加者は7キャンプ場あわせて1,743名、23日の登山ハイキングデーは、6コースにわかれ、162名が参加した。(写真 市営阿世湯キャンプ場)

市政 ヒツクス

●7月21日、日光ではじめての「小児マヒ生ワクチン」投与が行なわれた。これは安良沢小学校を指定校として全生徒に投与したものでこのほか3カ月以上6才未満の未就学者3,500人に対しても、7月29・30日の両日実施した。



(写真中は生ワクチンの投与を受ける安良沢小児童)

●7月10日から毎日、動力噴霧機3台を使って、市内の消毒をはじめた。これは全市にわたって、公共的空地・道路の側溝ゴミ捨て場などを重点的にやったもので、使用薬剤は、バルサン油剤・ダイアジノン粉剤の混合物。この消毒は今後もつづけられる。



(写真 コミ捨て場の消毒)

衣

天候によって、また昼と夜の高低の激しいこのころは、ちすい毛織りやナイロンのジャンパー、カーディガンなどと、盛夏着との、脱いだり着たりが当分続くので、置き場所をきめ、ハンガー、乱れかたまたはフタなし容器をきめて、脱ぎすてた衣類、置き場を整えておきたいもの。

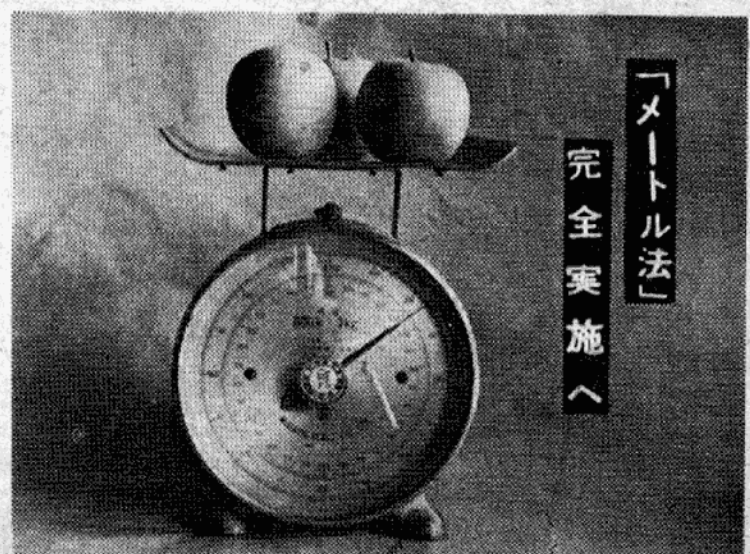
食

安くなったナスやキウリの保存づけをしてみよう。夏のつけものは塩からく、おもしろいから重くして、十分水があがるようにし、かびが浮いたりしないように注意する。さつまいもも早掘りが出て、これから安くなり、栄養もビタミンA・B₁・B₂・C、ミネラルも豊富。またこの月にはナシ・ブドウがようやくさかりになり種なしブドウも出まわる。お菓子よりの、こうしたくたものを多くする。

住

台風シーズンが近づく。屋根、雨どいの修理、床下の水はけ作りなど早目にとりかかりたい。予報に注意しながら万全の策を立てておこう。あらしのあと、倒れたキク、コスモス、ダリアなどは、折れたところは切りとり、添え竹を立ててやる。ダリアは地上30センチほどぎり捨て、新しい芽を出させ、秋の花を楽しむなど。あらしのあとは、すく手当てを。

併用目盛計量器をなくしましょう



「メートル法」

完全実施へ

メートル系と非メートル系の目盛が両方ある計量器はことし限りで取引には使用できません。

●お手持ちのはかりをつぎのいつれかの方法で、早くメートル系だけの目盛の計量器に改めてください。

①、メートル系だけの目盛のついた新品と取り替える。

②、目盛さおや、目盛板を取り替えて修理する。(棒はかりの併用目盛の修理は不可能です)くわしくは近くの計量器販売店かメーカーに相談してください。(できうる限りそれで修理してください。おそくなるようでしたら修理が完了しません。)

③、目盛さおの貫刃目盛を削り取る。(これは自分でやってもさしつかえないが、実際にやってみた結果、使用できなくなるが多くなるとは思われがよい。)

④、目盛板の貫刃目盛を塗りつぶす。(止むを得ない場合のみ)